



2022-23 年度
国際ロータリー会長
ジニファー・ジョンズ

Weekly Report Niigata



2022~23 年度
新潟ロータリークラブ会長

石川 治老

新潟 RC 11月第 5例会 (2022.11.29) (Zoom 例会併催) No.3438

(1) ロータリーソング「手に手つないで」ピアノ演奏

(2) 石川 治老会長挨拶

本日は先週の続きで小堀遠州の作ったと言われる庭の紹介をさせていただきます。

今週は二条城二の丸庭園と仙洞御所をご紹介しますと思います。

どれも小堀遠州がかかわったと伝えられる庭園ですが、そのものの庭園の持つ目的や発注者の考えに合わせいづれも作風を変化させ作庭していることがわかります。その中で最初に紹介するのが二条城二の丸庭園です。

二条城は 1603 年に江戸幕府初代将軍・徳川家康が築城し、そのときに二の丸庭園も造られました。

ここも小堀遠州の手が入っております。

ここは城郭に造られた庭園であり、城郭に作られた庭園は名古屋城、徳島城など複数ありますが、火災などで御殿が焼失しており、二条城は焼失を免れ、御殿と庭を一体的に観賞できる唯一現存する日本庭園として有名です。

この庭園は前回の金地院と同じく徳川幕府の威光を表すために作られたといっても過言ではない庭園で、蓬莱島、鶴島、亀島、に三段の滝など見どころ盛りだくさんです。

据えた石が名石揃いで豪華で華やか庭園で、この時代の日本庭園に芝とソテツを配置するなど時代の最先端を行きながらも、いわばこれ以上ないハイカラーな日本庭園ですが、クオリティも高いと言えます。

ここを財力権力の頂点の庭園とすると、次にご紹介する仙洞御所はまさに平安から続く日本庭園の良さ奥ゆかしさをのこしつつ、この江戸初期の時代に再構築した庭園であると言えます。仙洞御所は当時後水尾上皇のお住まいでありましたが、何回も火災にあい焼失しており、そのたびに改修が繰り返されてきました。この中でも古くからの庭園の遺構は少しだけ残っております。

阿古瀬淵・六枚橋の周辺は、豊臣家邸宅庭園の遺構と伝えられ、仙洞御所創設以前の場所のようです。

先ほどの広大な州浜や藤の花が美しい八つ橋見どころは多いのですが、ここも後の改修で設置された部分と言えます。当初南池と北池は当初つながっておらず、その後の改修でつなげ橋がかけられたようです。

このように改修をされ続けてきたこの庭園ですが、小堀が、当時施工した時のこの庭園はどのような感じだったのかまたこの庭にどのような遺構を残したのか見ていきたいと思います。当時の小堀遠州作庭当時の図をみると大きな中島と矩形の直線的な護岸が特徴でありこのような設計は西洋の庭園の影響といえ、二条城でも取り入れられているが、コケ地ではなく芝生の部分が多く取り入れられました。

ここに当時の図を見ていただいておりますがこれまでの曲線が主であった日本の庭園にこのように大胆に直線を用いたのは斬新かつ挑戦的なデザインと言わざるをえません。

その当初の仙洞御所の古図には従来の宮廷庭園には見られない花壇もありました。

古文書によれば花壇にはひまわり、コスモスなどのヨーロッパの花々が咲いており、また噴水があり約30センチの水をまきあげたということです。

当時改修前の仙洞御所には、小堀のその当時の最先端の感覚と技術がいかに発揮されます。

なんといっても護岸の作り方が二条城と大きく違い護岸の違いを比べてみていただければ、その違いは大きく、これまで日本庭園の中に現れてこなかった直線を用い貴族の庭には用いられてこなかった切石を橋や護岸に使い実にすっきりと護岸を収めています。

この感覚はこれまでのどの庭園にもなかったもので、作事奉行として建築にも多くかかわりまた、西洋の情報が多く入ってきた時代の庭園として最先端に行く素晴らしいものでありこれまでの庭園の文化を踏襲しつつ、随所に新しい景色を取り入れています、この時代に西欧の文化をも取り入れた庭園を作り上げました。

当初はヨーロッパ風の矩形の池であったところ。後の上皇はこれを好まなかったらしく、御所が火災で焼失した後の再建には、「焼けた石を取り外し」池を広げて、大きな州浜を設けています。

このような庭園を作り上げた小堀遠州ですが、彼のすごいところは詫びの心と雅そして武将としての勇ましさ、や強さを巧みに表現できる幅の広さ、度量の広さではないでしょうか、しかもそれぞれを高品質に仕上げる能力を持っていました。

夢窓疎石、利休、織部、そして小堀遠州と日本の文化を変革し、日本人の美的感覚をリードし新たに作り上げていったのは素晴らしいことだと思います。

(3) 委員会報告

・大澤強インターアクト委員長より年末 IA 献血活動ご協力のお願い

年末年始インターアクト献血キャンペーンを、今年度は日本文理高等学校インターアクトクラブがホスト校、新潟万代ロータリークラブがスポンサークラブとなり下記により開催致します。

日 時 令和4年 12 月 18 日(日)

場 所 万代シティバスセンター前

① 9:30～11:30 ② 13:00～16:00 「献血バス配置」

献血にご協力頂ける方は 12 月 6 日(火)までに

新潟 RC 事務局へお申し込み下さい。

fax:025-222-5051 ✉ :niigatarc@wine.ocn.ne.jp

69歳以下の方のみご協力をお願い致します。

65歳～69歳の献血は60歳～64歳の期間に献血経験がある方に限られます。

イベント、打ち上げ、飲食を伴う行為は難しいと判断致しましたが、学生たちの献血呼びかけ活動は、万代シティ周辺にて再開いたします。

主催 新潟 4 校インターアクトクラブ合同実行委員会

東京学館新潟高等学校インターアクトクラブ

敬和学園高等学校インターアクトクラブ

新潟明訓高等学校インターアクトクラブ

日本文理高等学校インターアクトクラブ

・東海 幸一職業奉仕委員長

本日職場訪問にご参加の方は13時40分イタリア軒前よりバスに乘車下さい。

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

本間 彊君 石川 治彦君

本多 晃君

米山奨学会寄付発表(渡辺 浩幸委員長)

本多 晃君 白勢 仁士君

青少年育成基金寄付発表(小林 建委員長)

岡村 健吉君

(5) ニコニコボックス紹介(佐藤 紳一委員)

・中山 真君 昨日、初孫が生まれました。まだ会えませんが家族はニコニコです。早く会いたいなあ。

(6) 幹事報告(高野 潤幹事)

12月6日夕方野鴨の会が開催されますが、当日は昼の例会も開催されます。

(7) 卓話「DIVERSITY」～多様性から持続可能へ～ 学校法人実学教育学園理事 フォーラム情報アカデミー専門学校学 校長 坂口 伸昭氏



(8) 11月29日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
90	89	71	79.78

Zoom参加 11名

12月6日の例会予定

「年次総会開催」

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>